参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 2 - 4
要綱上の 事業名称	(4)被災地復興のための土地利用計画策定事業
細要素事業名	蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業に係る文化財調査業務 (和田織部館跡)
全体事業費	28, 292 (千円)

基幹事業である蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行地区の工事施行地区にかかる文化財調査を行い、当該地区における早期の工事着手を図るもの。

【文化財調査に至った経緯】

25年度に蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行地区内の和田織部館跡の試掘調査を行った結果、居館跡、土塁等の遺構の存在が確認されたため、本調査が必要となった。

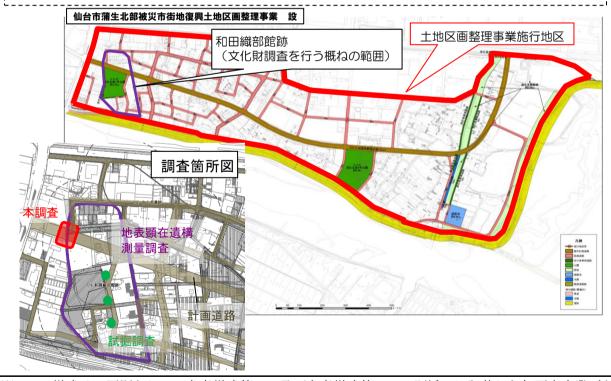
【調査を実施する遺跡・調査スケジュール等】

和田織部館跡:伊達氏の家臣「和田氏」の居館で、規模は東西約100m、南北約120mと推定される。

文化財調査実施に要する期間は約3カ月。

【現段階で調査業務を行う必要性】

- ・今年4月1日付けで事業計画を決定し、10月から換地設計と実施設計を進め、来年度から工事に着手する予定であるため、換地設計、実施設計に着手する前の段階で和田織部館跡の調査が必要である。
- ・試掘調査は、昨年度地権者との調整がつかず実施できなかった箇所について実施する。
- ◎委託費(事業費) (26年度)
 - ·本調査(A=約1,260m²)、地表顕在遺構測量調査(A=37,000m²)、試掘調査(3箇所) 28,292千円



- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、 全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。